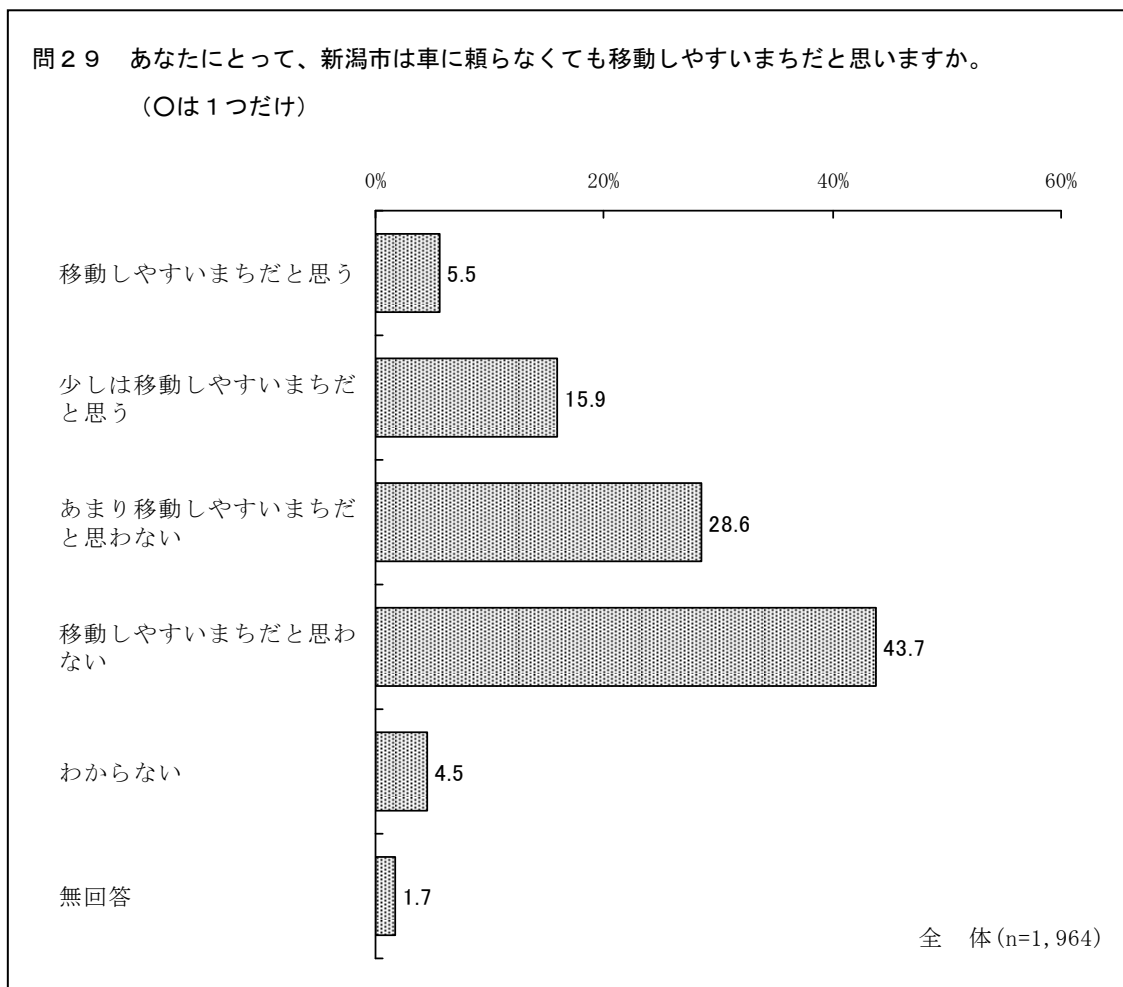


3. 移動しやすいまちづくりについて

(1) 移動しやすい現状



7割強が「移動しやすいまちだと思わない」と回答

【全体結果】

移動しやすい現状については、「移動しやすいまちだと思わない」と「あまり移動しやすいまちだと思わない」を合わせると72.3%となり、7割以上の人が『移動しやすいまちだと思わない』と回答している。

一方で、「移動しやすいまちだと思う」と「少しは移動しやすいまちだと思う」を合わせると21.5%となり、『移動しやすいまちだと思う』と回答した人の割合は2割強である。

【属性別結果】（図 3-1 参照）

①地区別

すべての地区において、「移動しやすいまちだと思わない」と「あまり移動しやすいまちだと思わない」を合わせた『移動しやすいまちだと思わない』の割合が、「移動しやすいまちだと思う」と「少しは移動しやすいまちだと思う」を合わせた『移動しやすいまちだと思う』の割合よりも高く、特に南区（89.1%）で高くなっている。

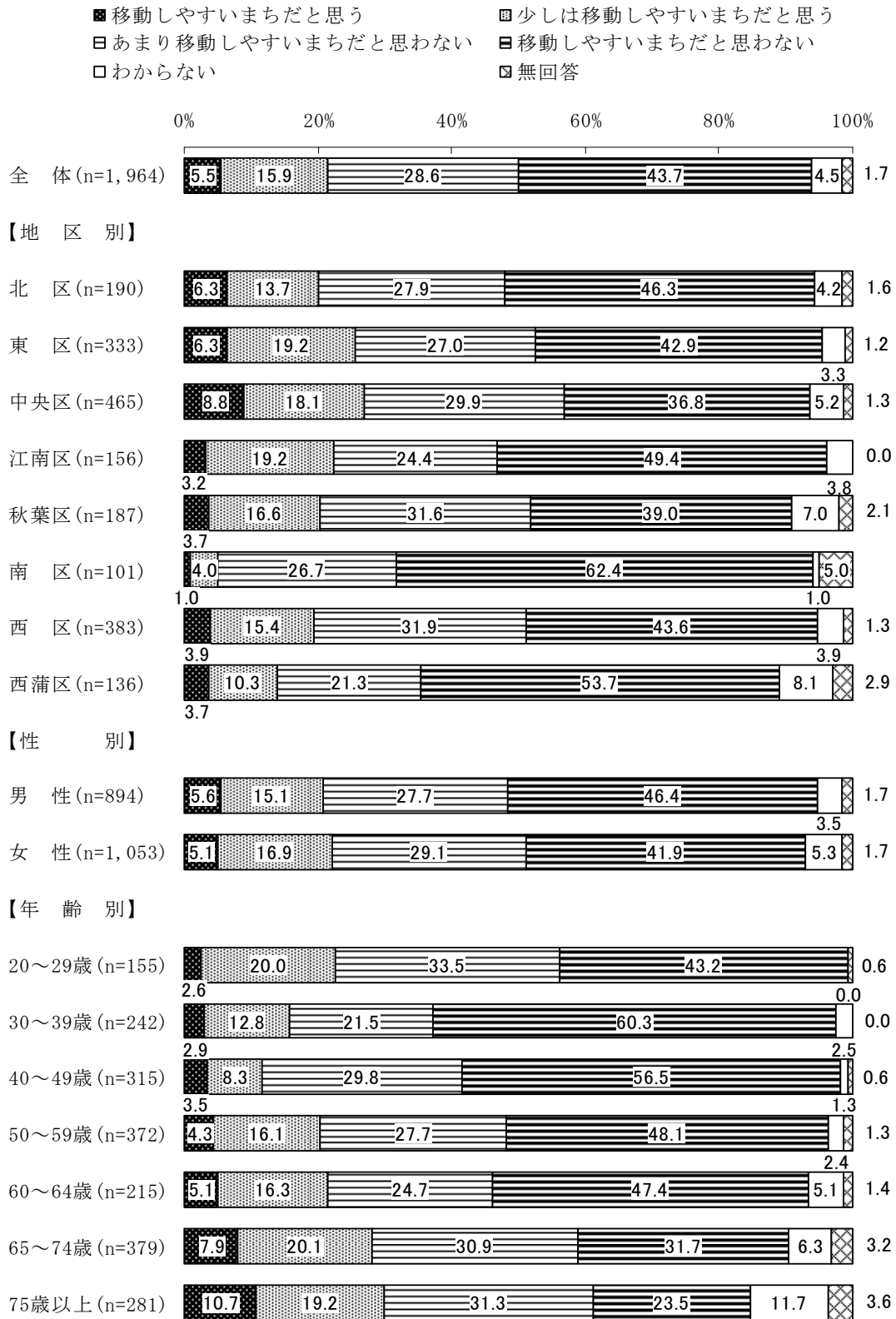
②性別

男女ともに、『移動しやすいまちだと思わない』の割合が『移動しやすいまちだと思う』の割合よりも高く、差はみられない。

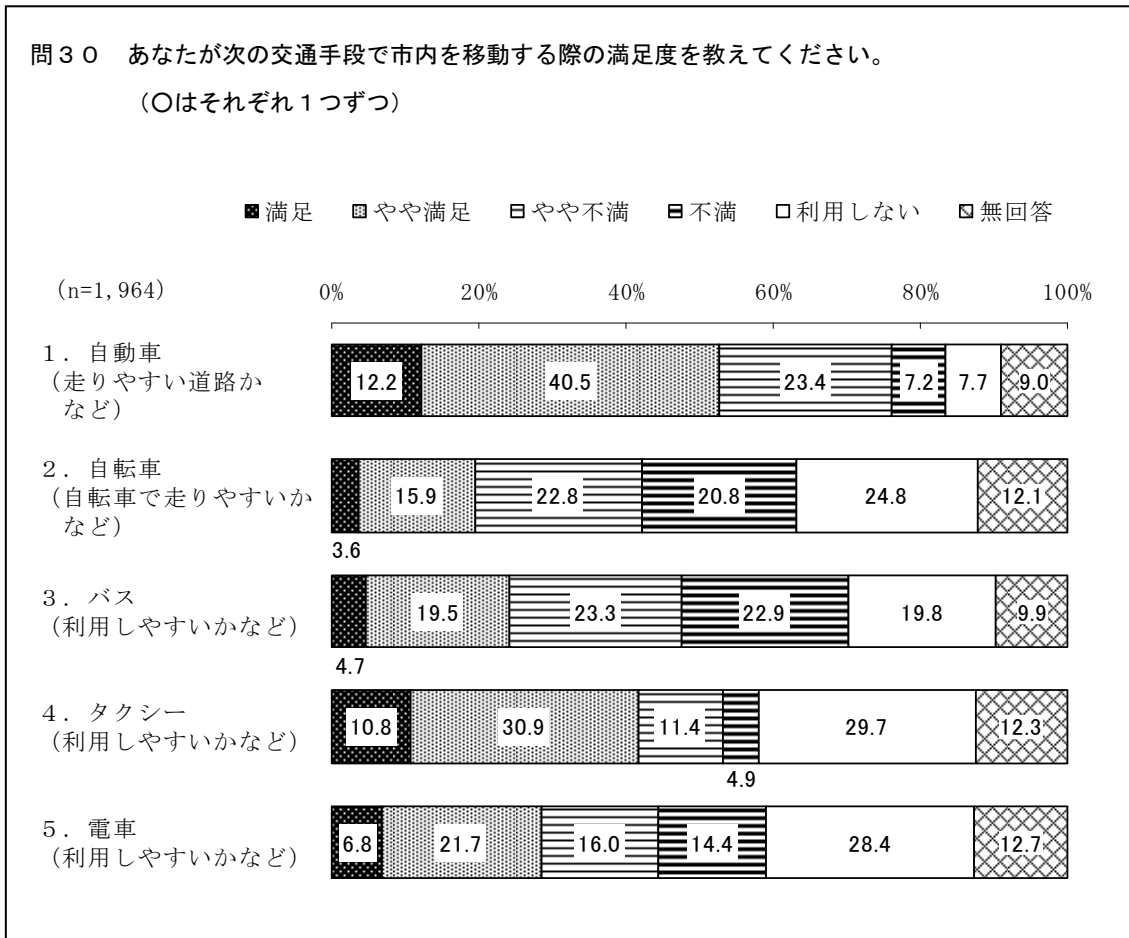
③年齢別

すべての年代において、『移動しやすいまちだと思わない』の割合が、『移動しやすいまちだと思う』の割合よりも高くなっているが、40代以上では、年齢が上がるにつれて割合は低くなっている。

図3-1 移動しやすさの現状（地区別／性別／年齢別）



(2) 市内を移動する際の交通手段の満足度



— 移動する際の交通手段では、半数以上が「自動車」に満足している —

【全体結果】

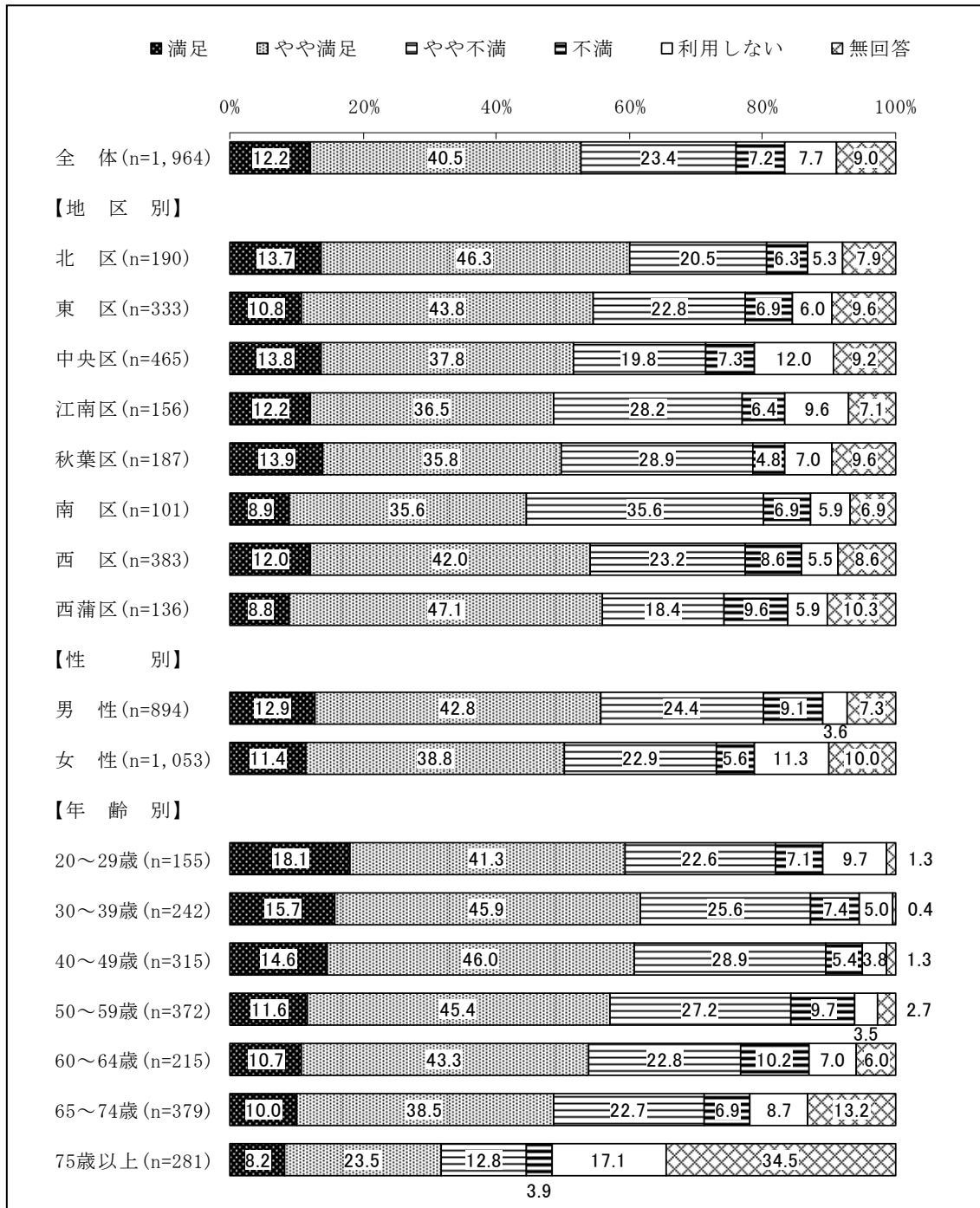
市内を移動する際の交通手段に対する『満足』と『やや満足』を合わせた割合（満足度）については、「1. 自動車（走りやすい道路かなど）」（52.7%）の割合が最も高くなっている。以下、『満足度』の割合は、「4. タクシー（利用しやすいかなど）」（41.6%）、「5. 電車（利用しやすいかなど）」（28.5%）、「3. バス（利用しやすいかなど）」（24.2%）、「2. 自転車（自転車で走りやすいかなど）」（19.5%）の順となっている。

一方で、『不満』と『やや不満』を合わせた割合（不満度）については、「3. バス」（46.1%）の割合が最も高い。以下、『不満度』の割合は、「2. 自転車」（43.6%）、「1. 自動車」（30.6%）、「5. 電車」（30.4%）、「4. タクシー」（16.3%）の順となっている。

【属性別結果】

次ページ以降に交通手段の印象ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 自動車（走りやすい道路かなど）

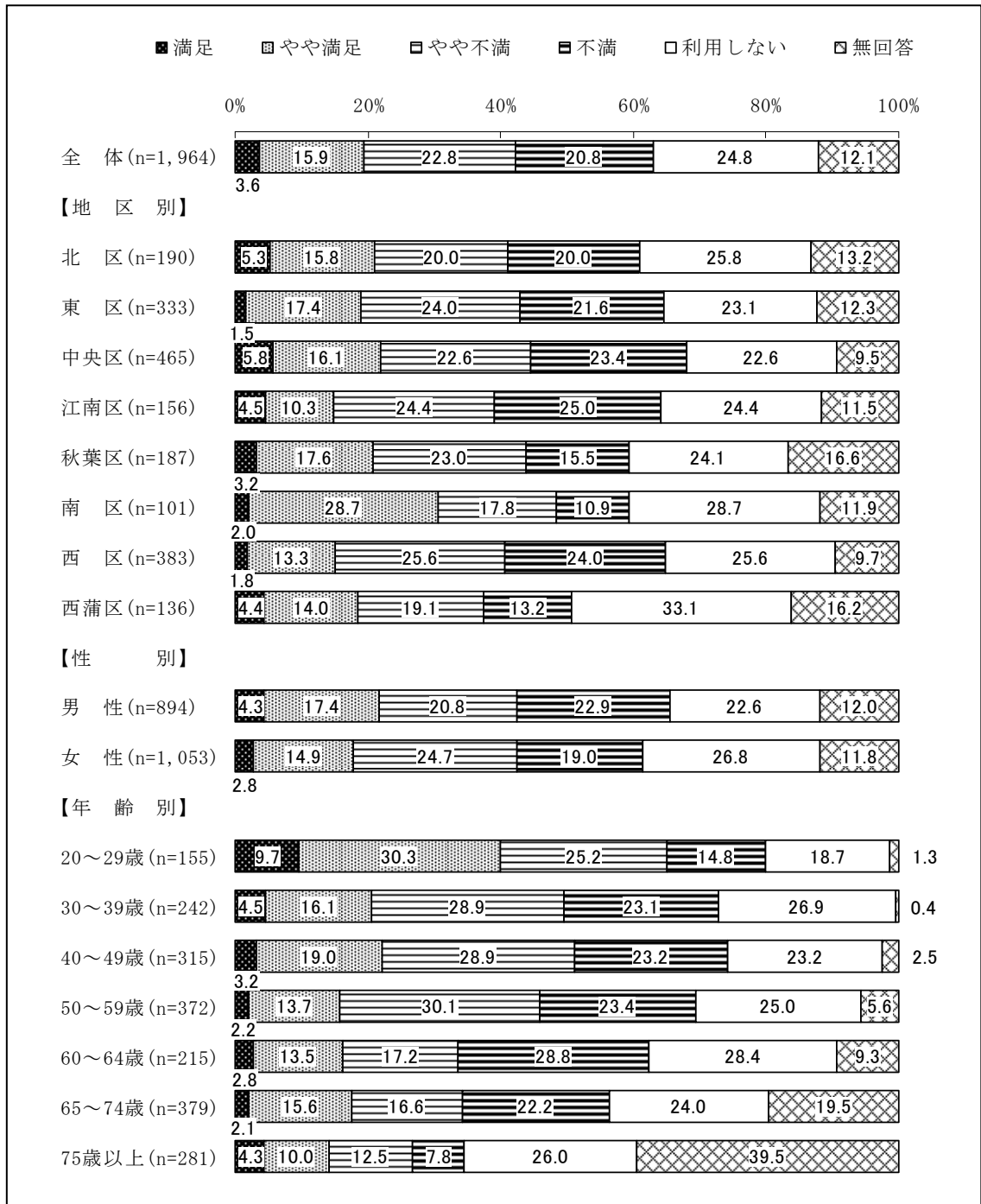


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「満足」と「やや満足」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足」と「やや満足」を合わせた割合についてみると、地区別は、北区（60.0%）が最も高くなっている。性別は、男性（55.7%）の方が女性（50.2%）よりも高くなっている。年齢別は、30代（61.6%）と40代（60.6%）で高くなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、地区別は、南区（42.6%）が4割を超えている。年齢別は、50代（36.8%）が最も高くなっている。

② 自転車（自転車で走りやすいかなど）

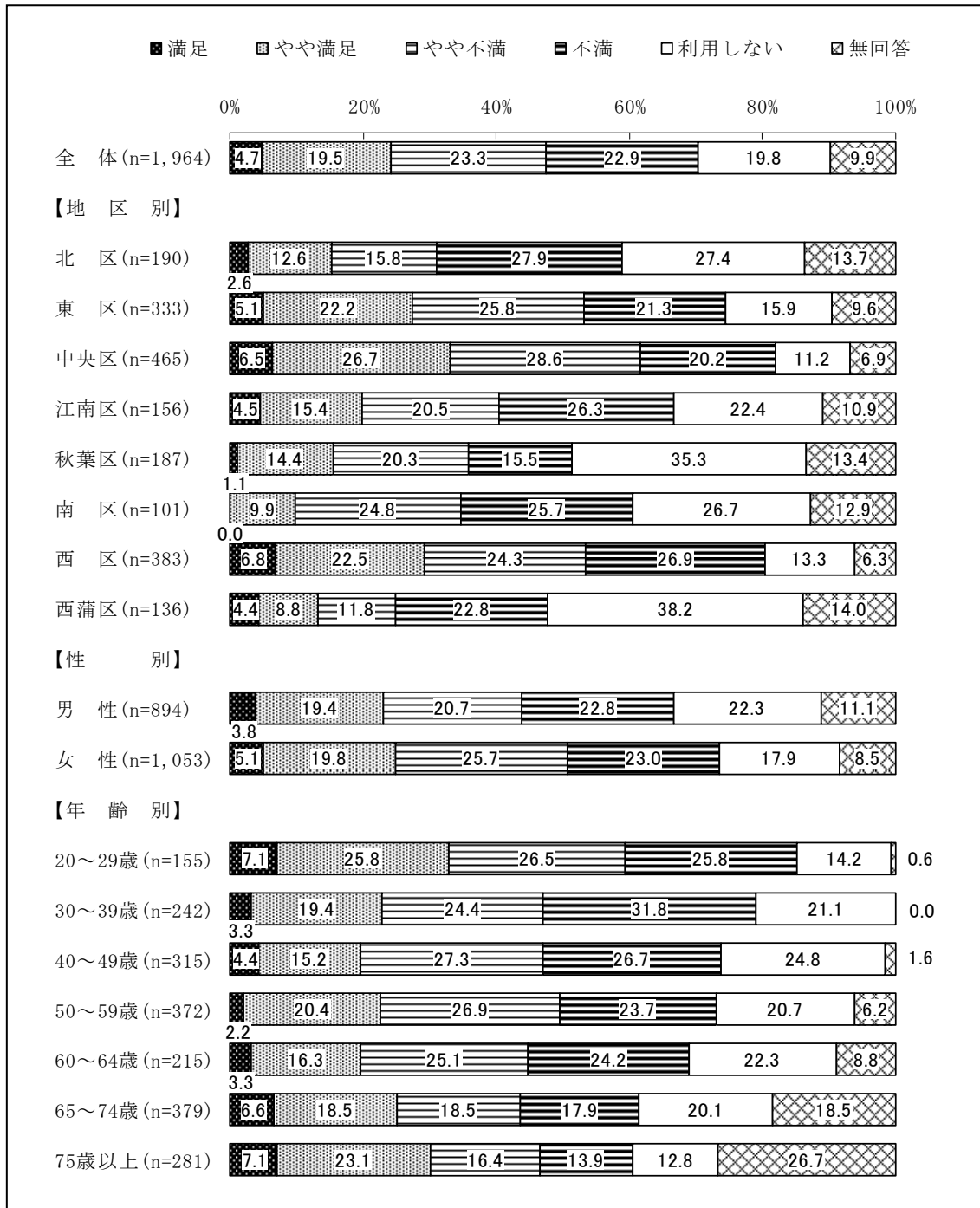


南区と20代を除く属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（49.6%）と江南区（49.4%）が高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、50代（53.5%）、30代（52.1%）、40代（52.1%）で5割を超えている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、南区（30.7%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（40.0%）が4割となっている。

③ バス（利用しやすいかなど）

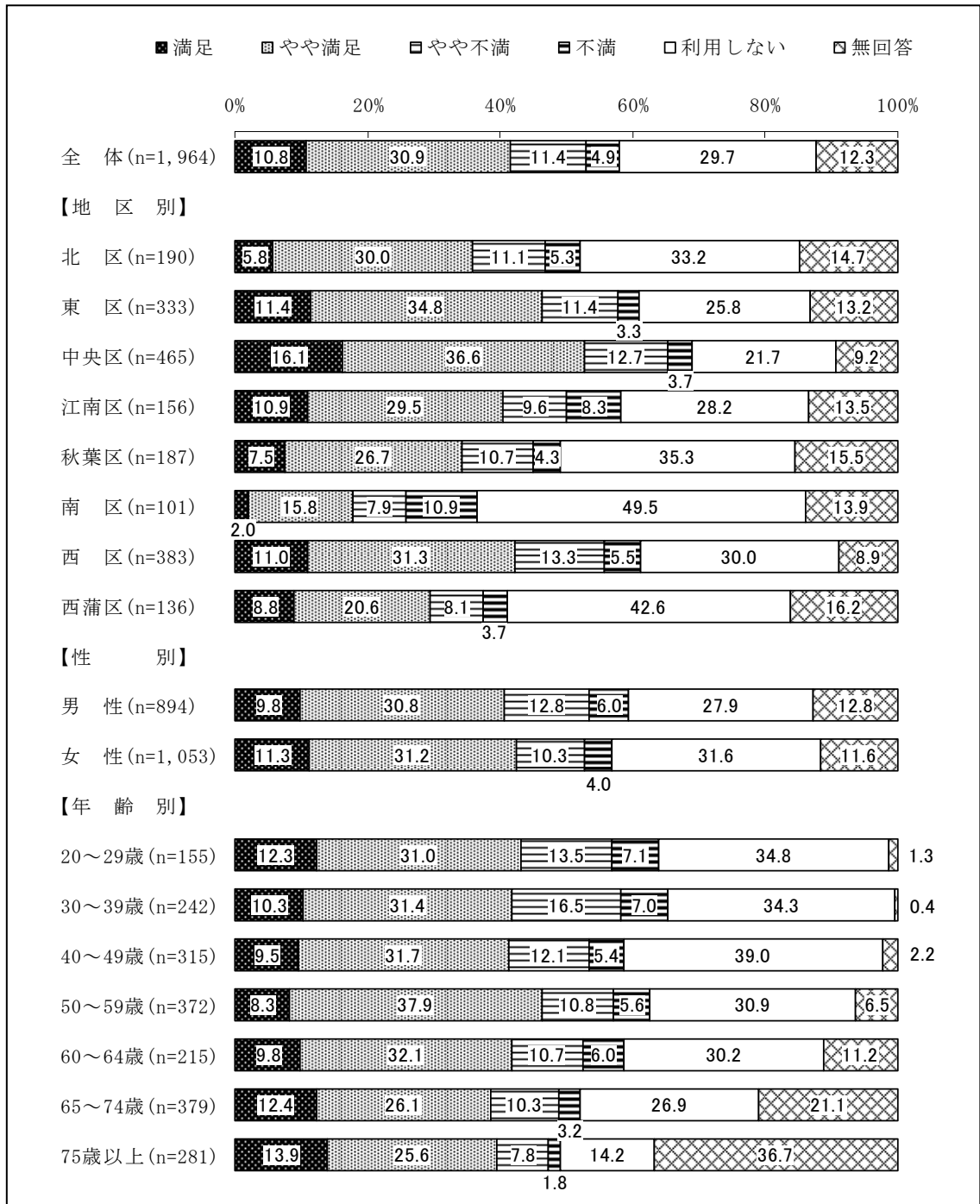


75歳以上を除いた属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（51.2%）と南区（50.5%）が高くなっている。性別は、女性（48.7%）の方が男性（43.5%）よりも高くなっている。年齢別は、30代（56.2%）が最も高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、中央区（33.1%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（32.9%）と75歳以上（30.2%）が3割を超えている。

④ タクシー（利用しやすいかなど）

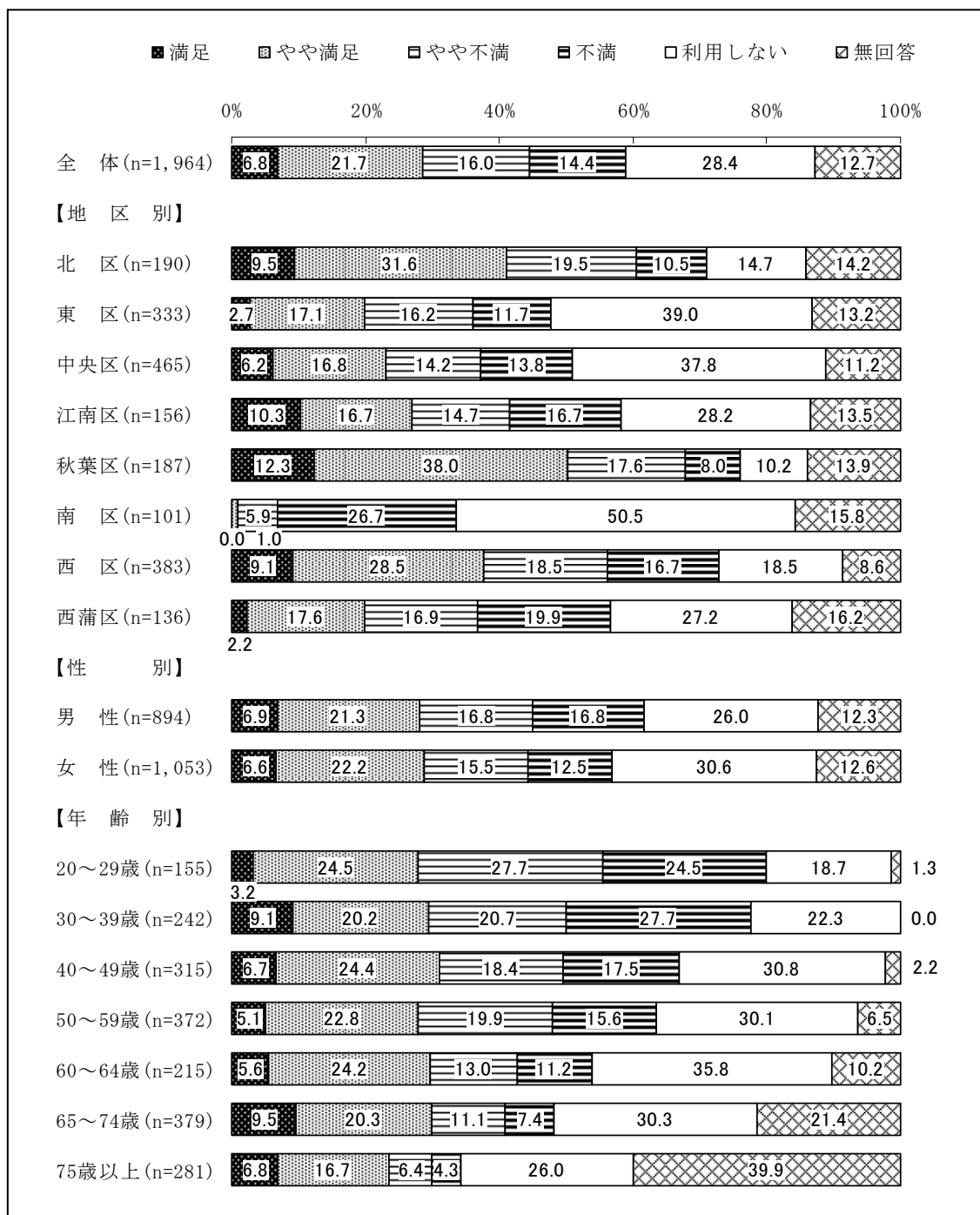


南区を除いた属性において、「満足」と「やや満足」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足」と「やや満足」を合わせた割合についてみると、地区別は、中央区（52.7%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、50代（46.2%）が最も高くなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、30代（23.6%）と20代（20.6%）を除いて、2割以下となっている。

⑤ 電車（利用しやすいかなど）

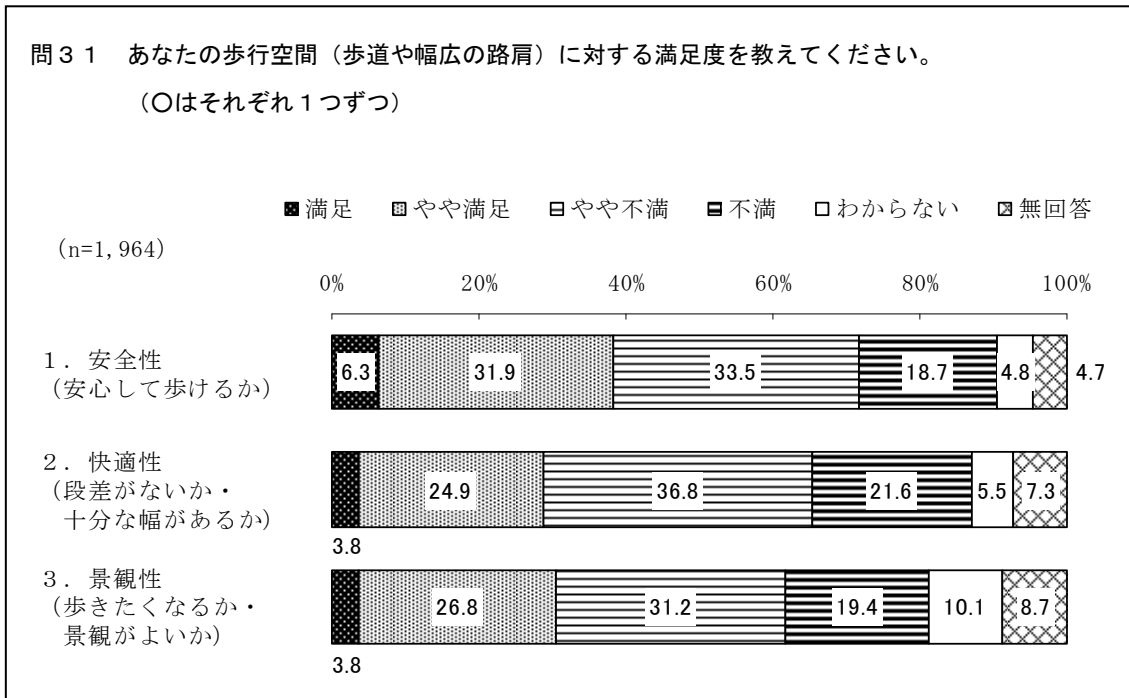


北区、秋葉区、西区、女性、60歳以上を除いた属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西蒲区（36.8%）が最も高くなっている。性別は、男性（33.6%）の方が女性（28.0%）よりも高くなっている。年齢別は、20代（52.3%）が最も高く5割を超えている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、秋葉区（50.3%）が最も高くなっている。年齢別は、40代（31.1%）が最も高くなっている。

(3) 歩行空間に対する満足度



歩行空間では、4割弱が「安全性」に満足している

【全体結果】

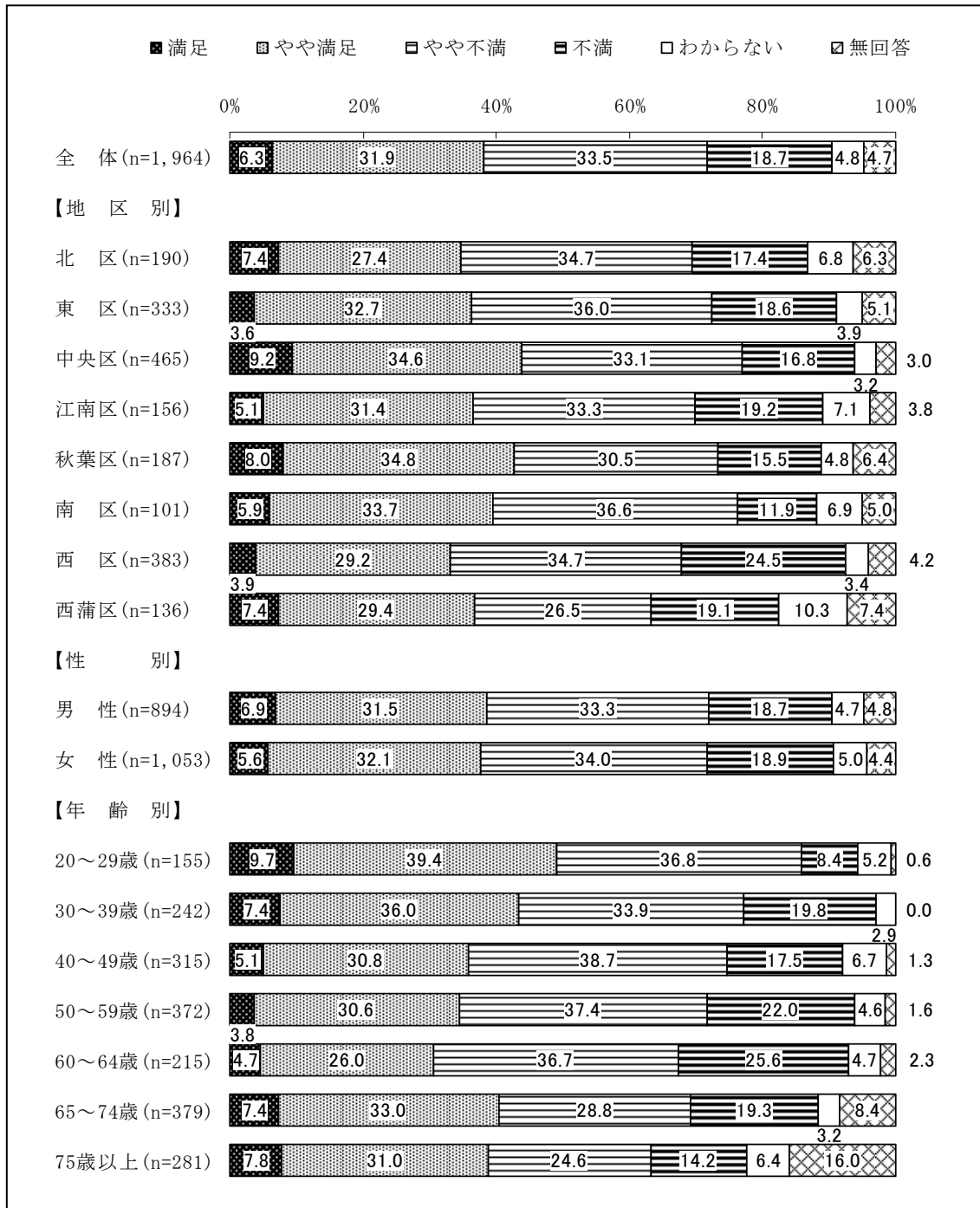
歩行空間（歩道や幅広の道路）に対する『満足』と『やや満足』を合わせた割合（満足度）については、「1. 安全性（安心して歩けるか）」（38.2%）の割合が最も高くなっている。以下、『満足度』の割合は、「3. 景観性（歩きたくなるか・景観がよいか）」（30.5%）、「2. 快適性（段差がないか・十分な幅があるか）」（28.7%）の順となっている。

一方で、『不満』と『やや不満』を合わせた割合（不満度）については、「2. 快適性」（58.5%）の割合が最も高くなっている。以下、『不満度』の割合は、「1. 安全性」（52.2%）、「3. 景観性」（50.6%）の順となっている。

【属性別結果】

次ページ以降に歩行空間の印象ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 安全性（安心して歩けるか）

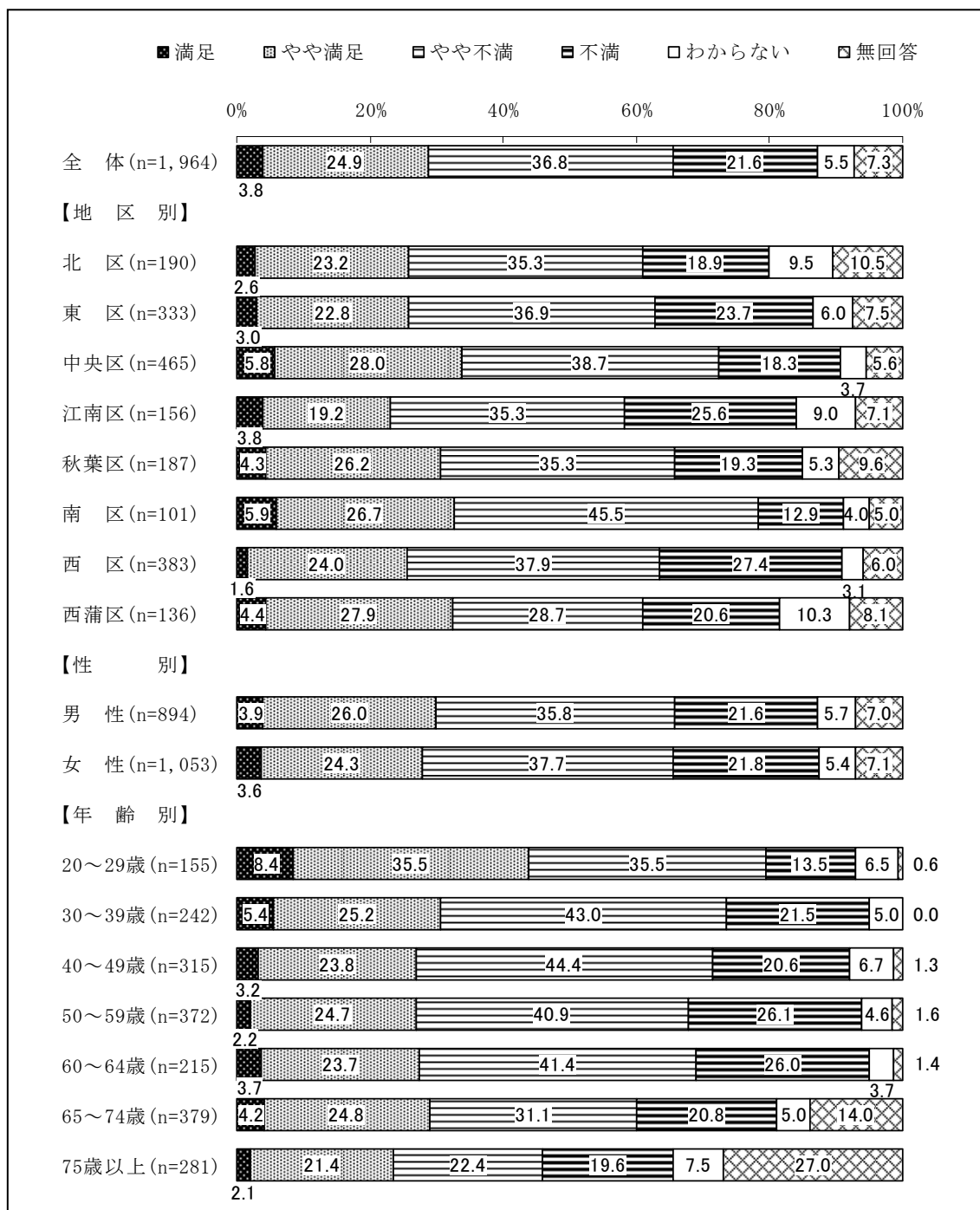


20代と75歳以上を除いた属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（59.3%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、60～64歳（62.3%）が最も高く6割を超えている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、中央区（43.9%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（49.0%）が最も高くなっている。

② 快適性（段差がないか・十分な幅があるか）

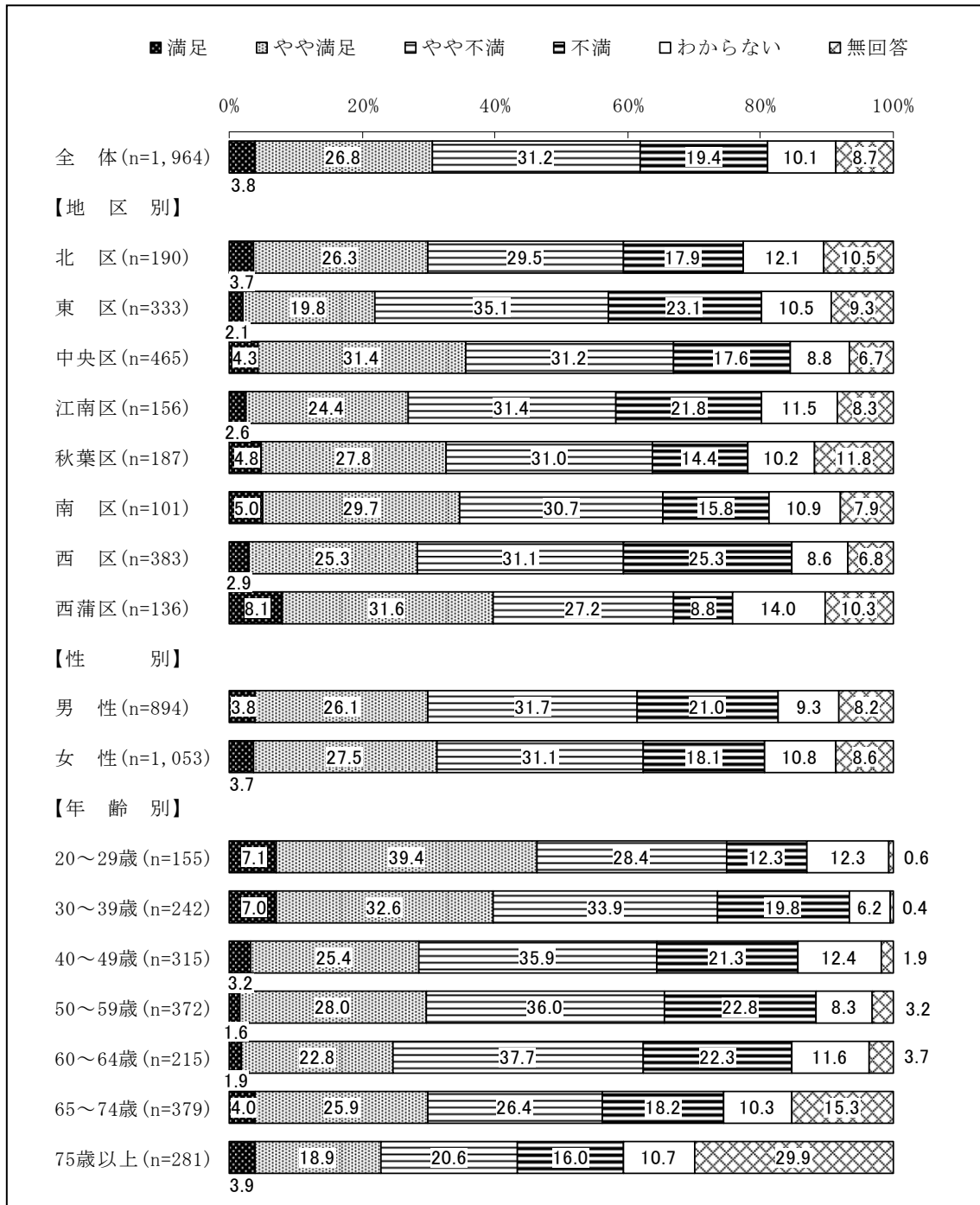


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（65.3%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、60～64歳、50代、40代、30代が高く6割を超えている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、中央区（33.8%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（43.9%）が最も高くなっている。

③ 景観性（歩きたくなるか・景色がよいか）



西蒲区と20代を除いた属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

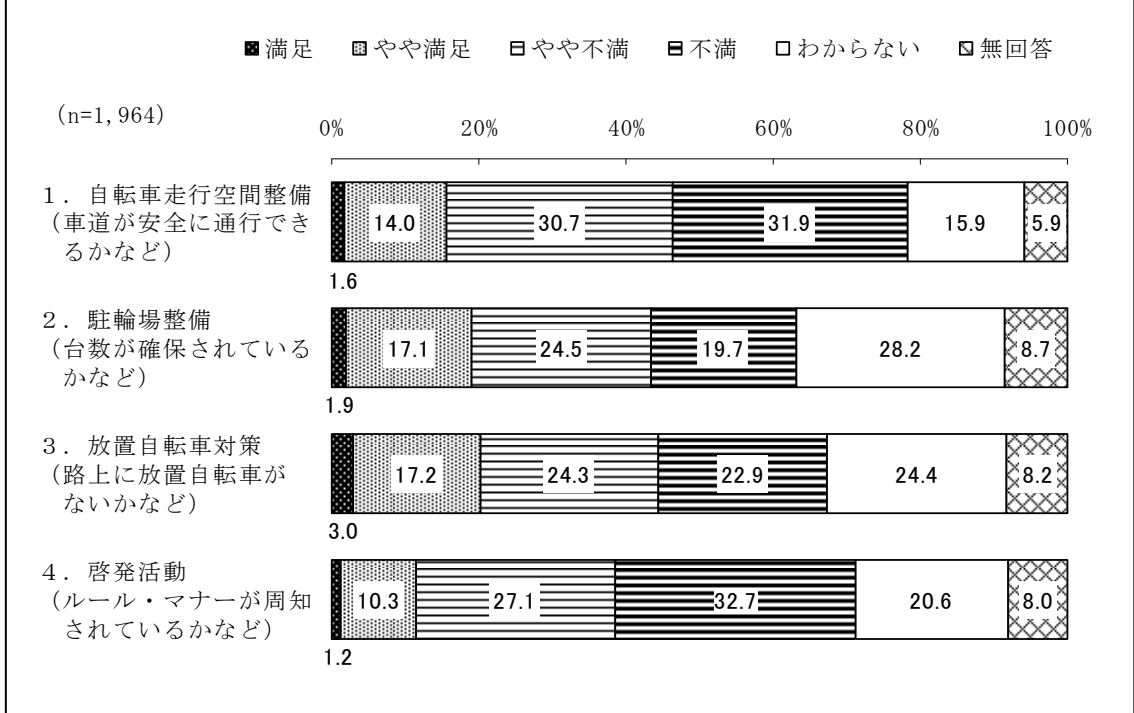
「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、東区（58.3%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、60～64歳（60.0%）が最も高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、西蒲区（39.7%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（46.5%）が最も高くなっている。

(4) 自転車利用の取り組みに対する満足度

問3 2 市では「自転車走行空間整備」、「駐輪場整備」、「放置自転車対策」、「啓発活動（自転車の利用促進、ルール・マナー啓発）」を行っています。

それぞれの取り組みに対するあなたの満足度を教えてください。(〇はそれぞれ1つずつ)



— 自転車利用の取り組みでは、2割が「放置自転車対策」に満足している —

【全体結果】

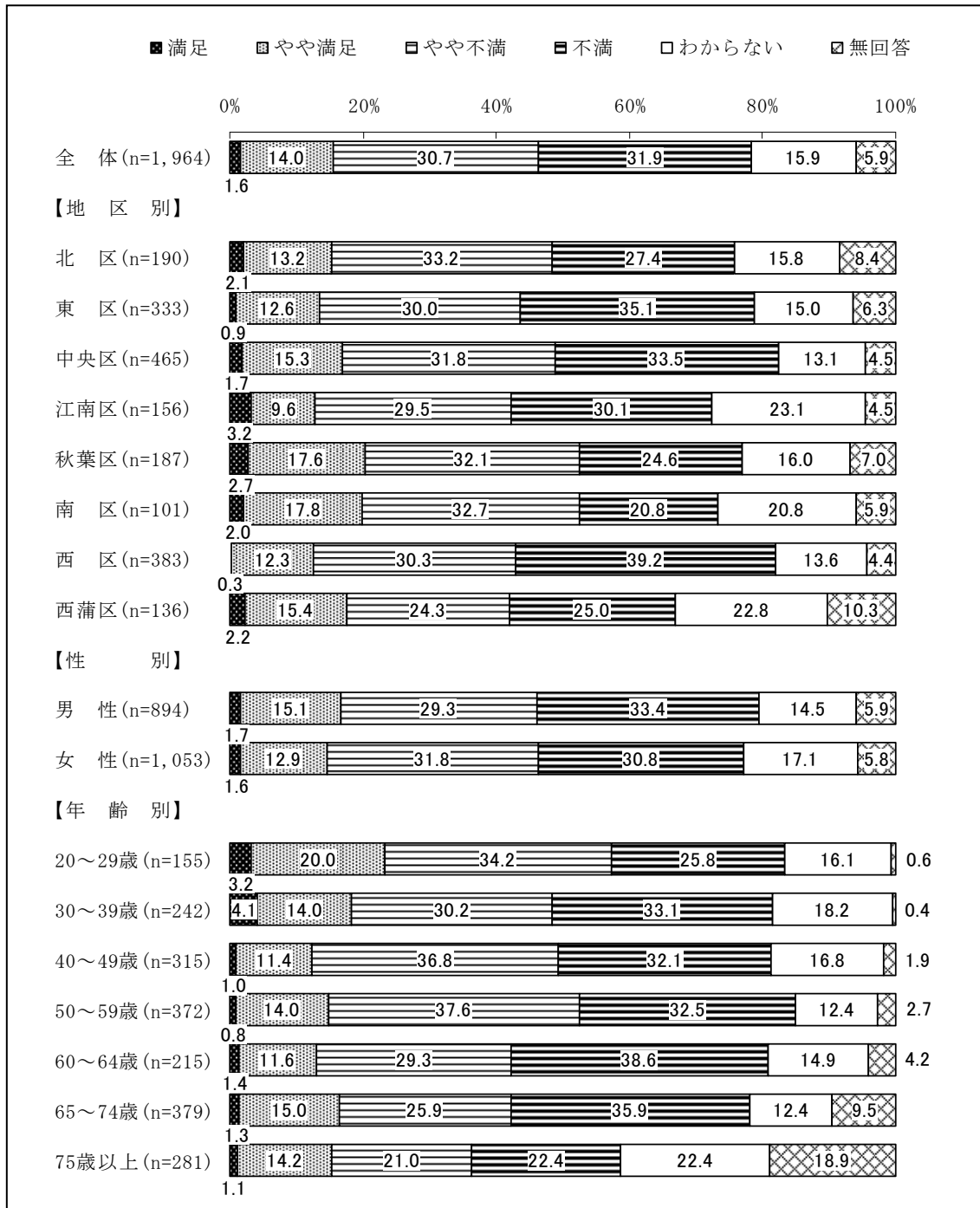
自転車利用の取り組みに対する『満足』と『やや満足』を合わせた割合（満足度）については、「3. 放置自転車対策（路上に放置自転車がないかなど）」(20.2%)の割合が最も高くなっている。以下、『満足度』の割合は、「2. 駐輪場整備（台数が確保されているかなど）」(18.9%)、「1. 自転車走行空間整備（車道が安全に通行できるかなど）」(15.6%)、「4. 啓発活動（ルール・マナーが周知されているかなど）」(11.5%)の順となっている。

一方で、『不満』と『やや不満』を合わせた割合（不満度）については、「1. 自転車走行空間整備」(62.6%)の割合が最も高くなっている。以下、『不満度』の割合は、「4. 啓発活動」(59.8%)、「3. 放置自転車対策」(47.3%)、「2. 駐輪場整備」(44.2%)の順となっている。

【属性別結果】

次ページ以降に自転車利用の取り組みの印象ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 自転車走行空間整備（車道が安全に通行できるかなど）

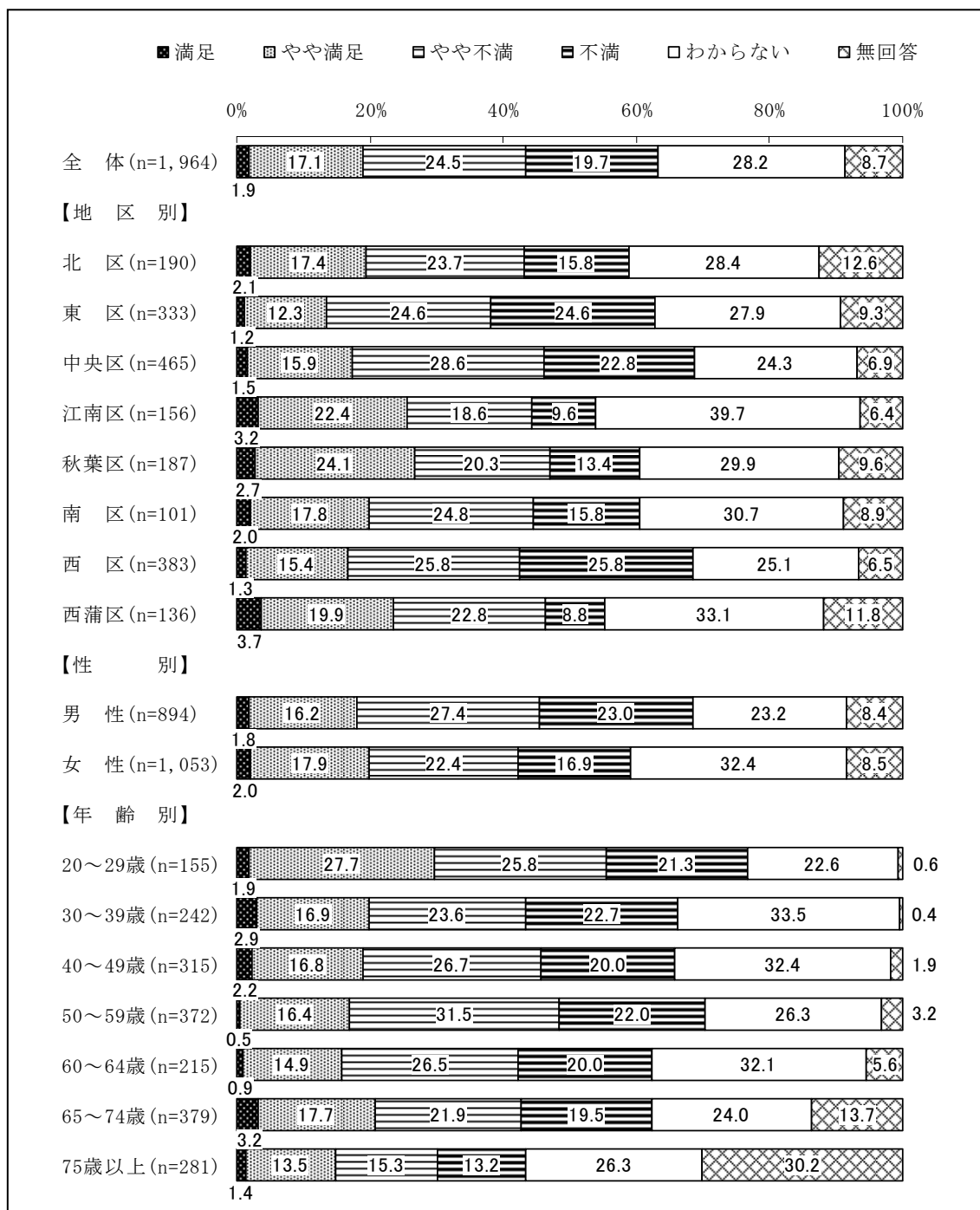


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（69.5%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、50代（70.2%）が最も高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、秋葉区（20.3%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（23.2%）が最も高くなっている。

② 駐輪場整備（台数が確保されているかなど）

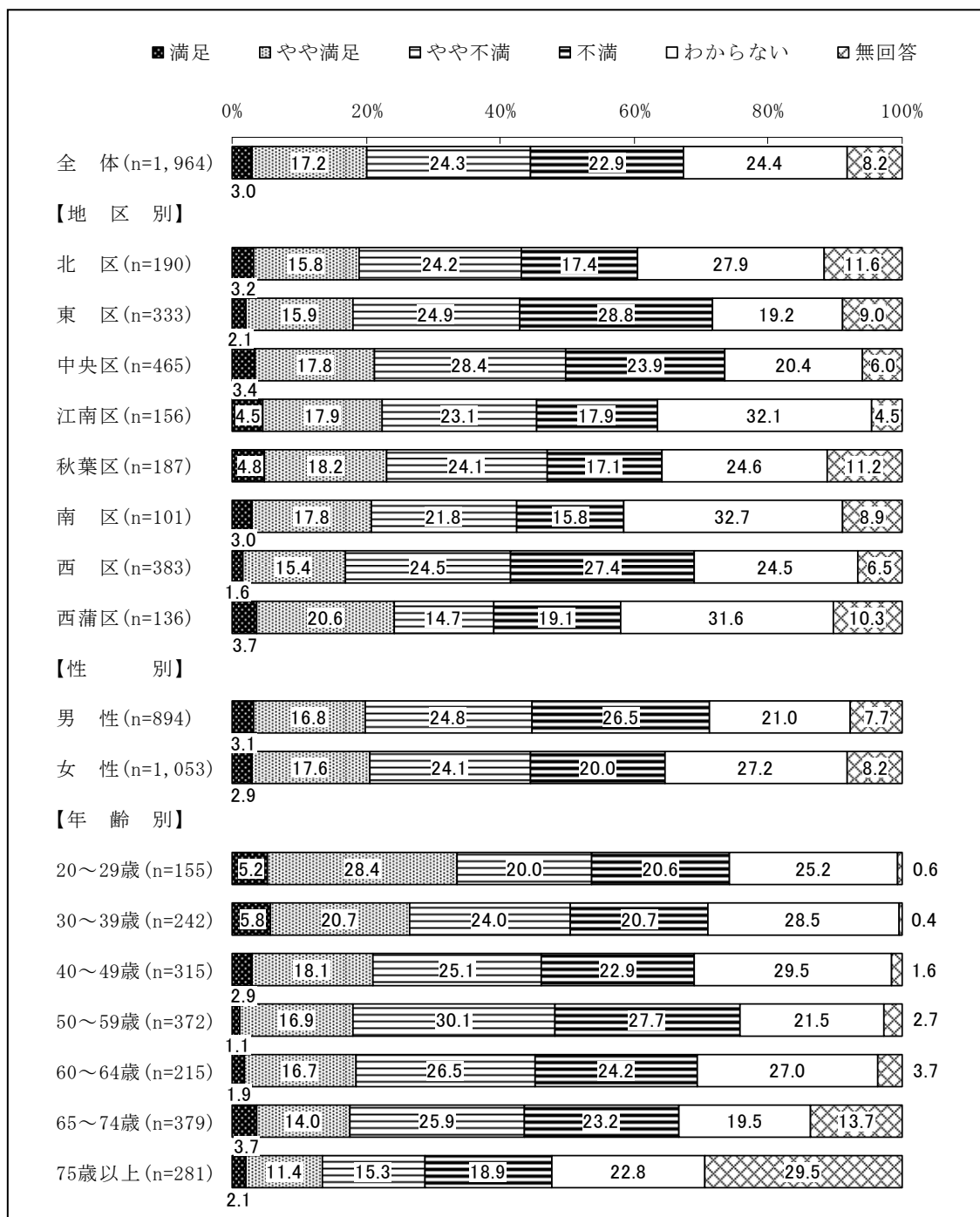


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（51.7%）と中央区（51.4%）が高くなっている。性別は、男性（50.4%）の方が女性（39.3%）よりも高くなっている。年齢別は、50代（53.5%）が最も高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、秋葉区（26.7%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（29.7%）が最も高くなっている。

③ 放置自転車対策（路上に放置自転車がないかなど）

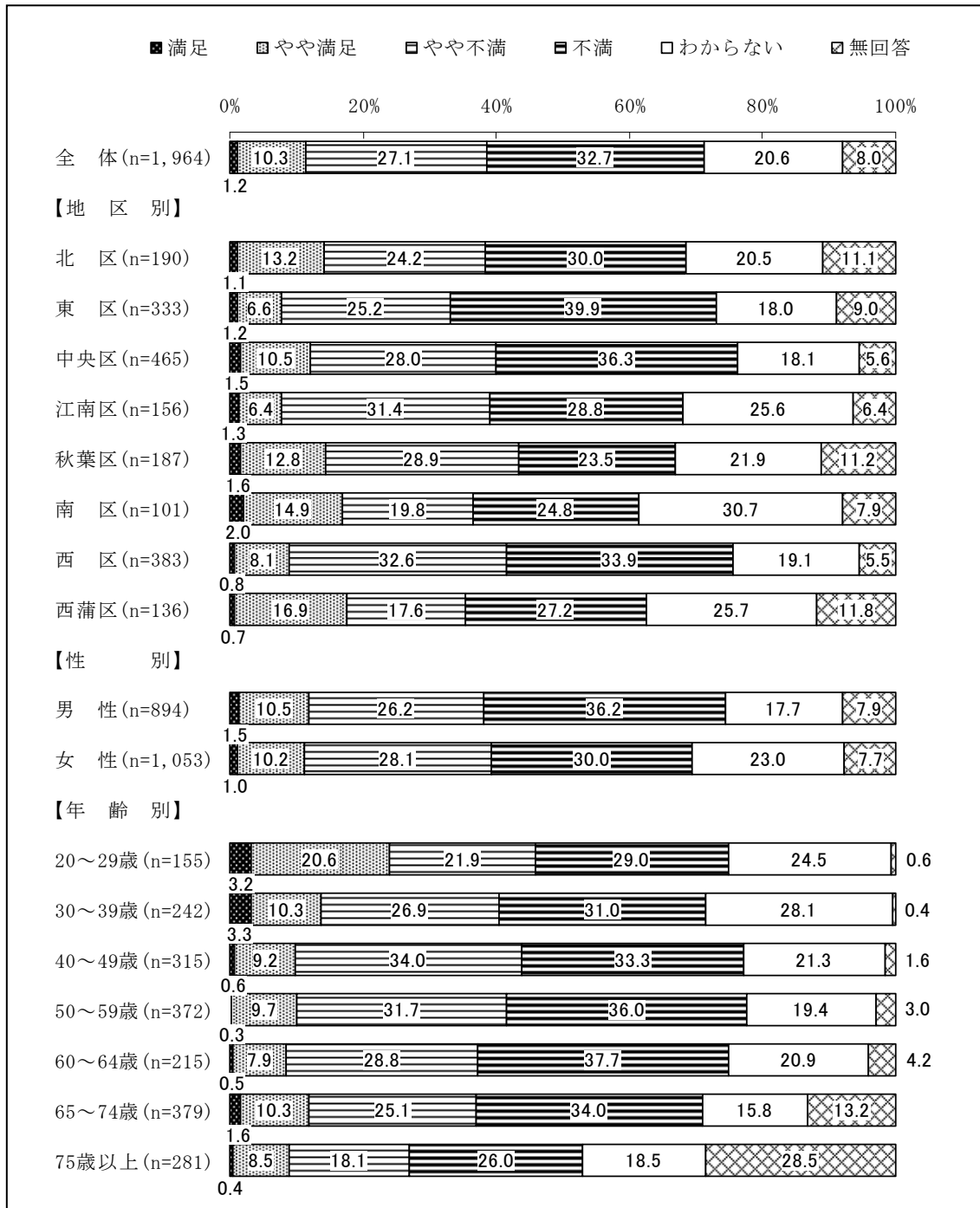


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、東区（53.8%）が最も高くなっている。性別は、男性（51.3%）の方が女性（44.2%）よりも高くなっている。年齢別は、50代（57.8%）が最も高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、西蒲区（24.3%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（33.5%）が最も高くなっている。

④ 啓発活動（ルール・マナーが周知されているかなど）



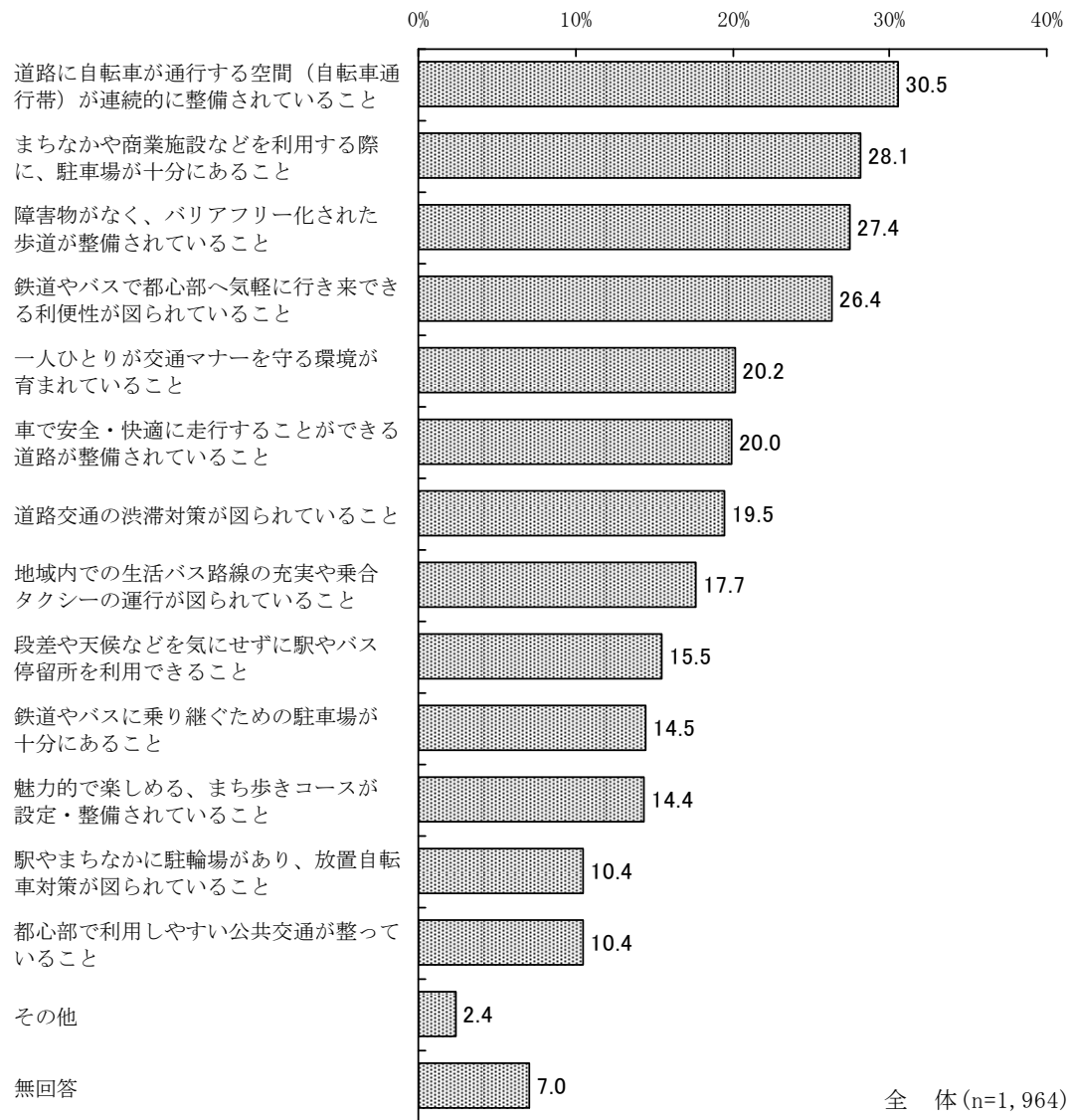
地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（66.6%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、50代（67.7%）と40代（67.3%）が高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、西蒲区（17.6%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（23.9%）が最も高くなっている。

(5) 「移動しやすいまち」として必要なこと

問33 あなたにとって「移動しやすいまち」であると実感できること、また、「移動しやすいまち」を実感するために必要だと思うことは、次のうちどれですか。(〇は3つまで)



3割が「自転車通行帯の連続的な整備」が必要と回答

【全体結果】

「移動しやすいまち」として必要なこと（複数回答）については、「道路に自転車が通行する空間（自転車通行帯）が連続的に整備されていること」（30.5%）の割合が最も高くなっている。以下、「まちなかや商業施設などを利用する際に、駐車場が十分にあること」（28.1%）、「障害物がなく、バリアフリー化された歩道が整備されていること」（27.4%）、「鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られていること」（26.4%）、「一人ひとりが交通マナーを守る環境が育まれていること」（20.2%）、「車で安全・快適に走行することができる道路が整備されていること」（20.0%）が2割台で続いている。

【属性別結果】（図 3-2 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「道路に自転車が通行する空間（自転車通行帯）が連続的に整備されていること」については、中央区（35.9%）の割合が最も高く、南区（20.8%）が最も低くなっている。

「まちなかや商業施設などを利用する際に、駐車場が十分にあること」の割合は、西蒲区（35.3%）が最も高く、南区（23.8%）が最も低くなっている。「鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られていること」の割合は、南区（39.6%）が最も高く、東区（17.1%）が最も低くなっている。

②性別

「鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られていること」と「車で安全・快適に走行することができる道路が整備されていること」の割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。「障害物がなく、バリアフリー化された歩道が整備されていること」と「地域内での生活バス路線の充実や乗り合いタクシーの運行が図られていること」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

③年齢別

「道路に自転車が通行する空間（自転車通行帯）が連続的に整備されていること」の割合は、60～64歳（37.2%）が最も高く、75歳以上（24.9%）が最も低くなっている。

「まちなかや商業施設などを利用する際に、駐車場が十分にあること」、「鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られていること」、「一人ひとりが交通マナーを守る環境が育まれていること」の割合は、30代が最も高く、75歳以上が最も低くなっている。

図3-2 「移動しやすいまち」として必要なこと（地区別／性別／年齢別） 1/3

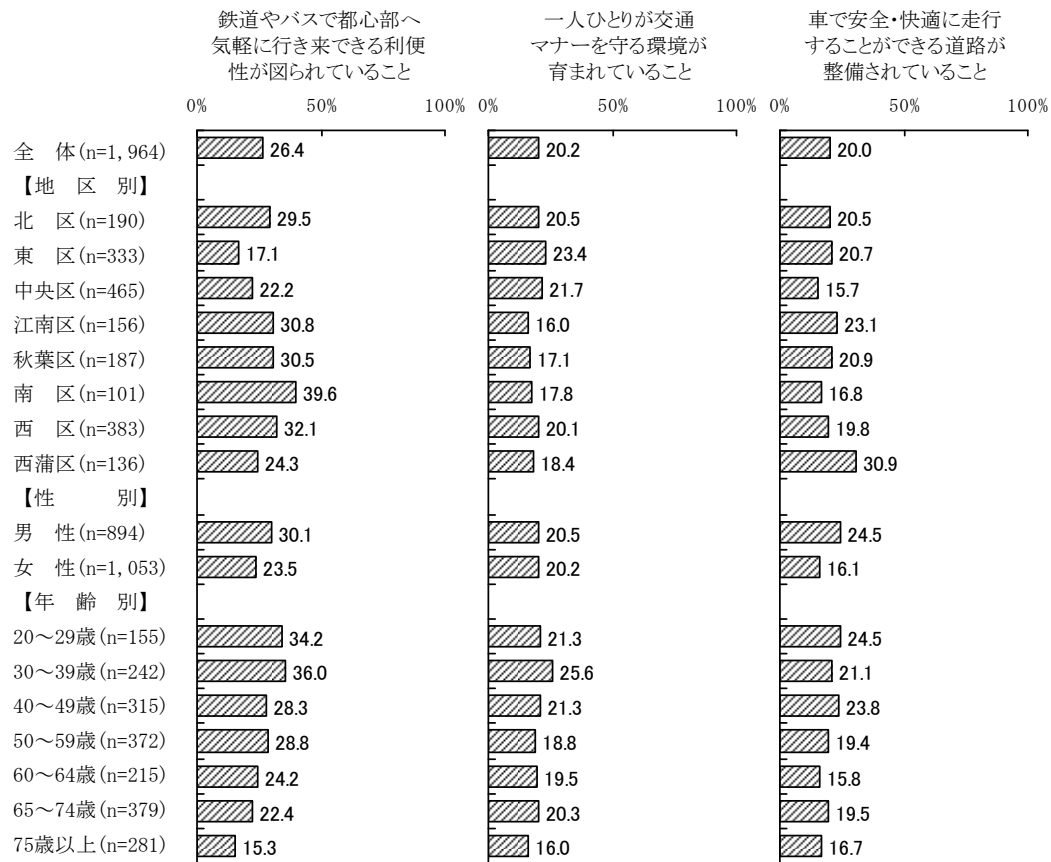
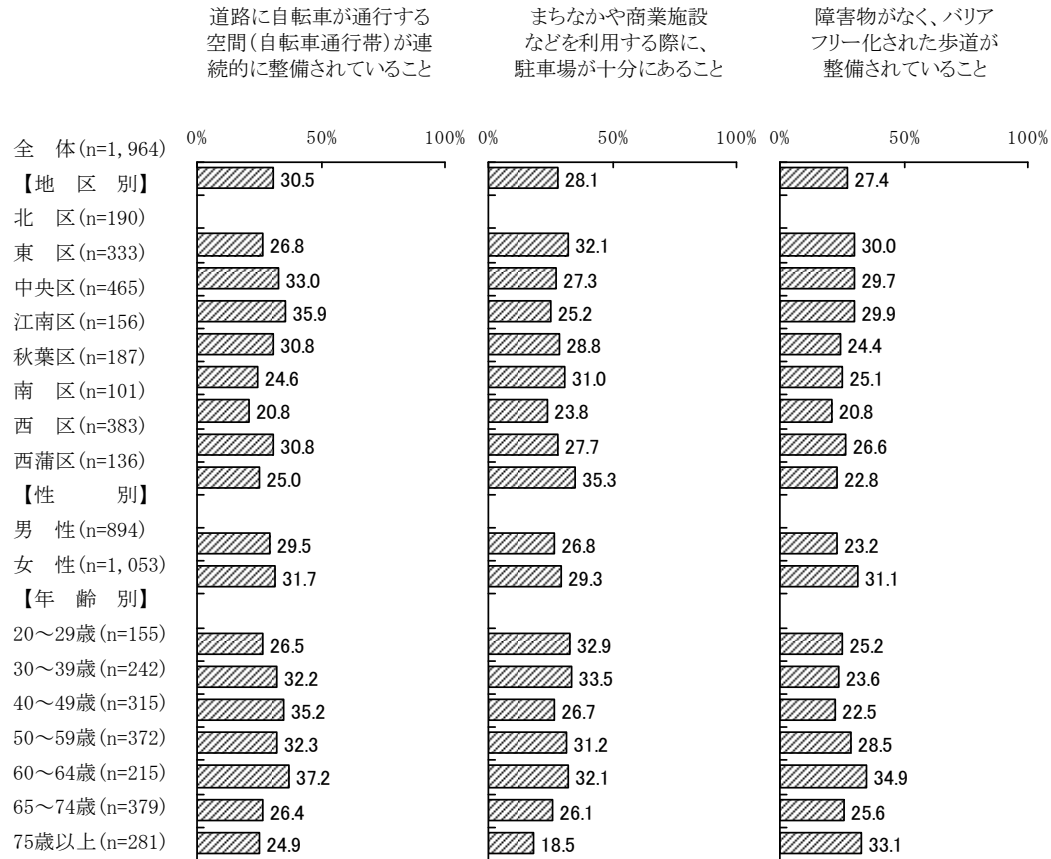


図3-2 「移動しやすいまち」として必要なこと（地区別／性別／年齢別） 2/3

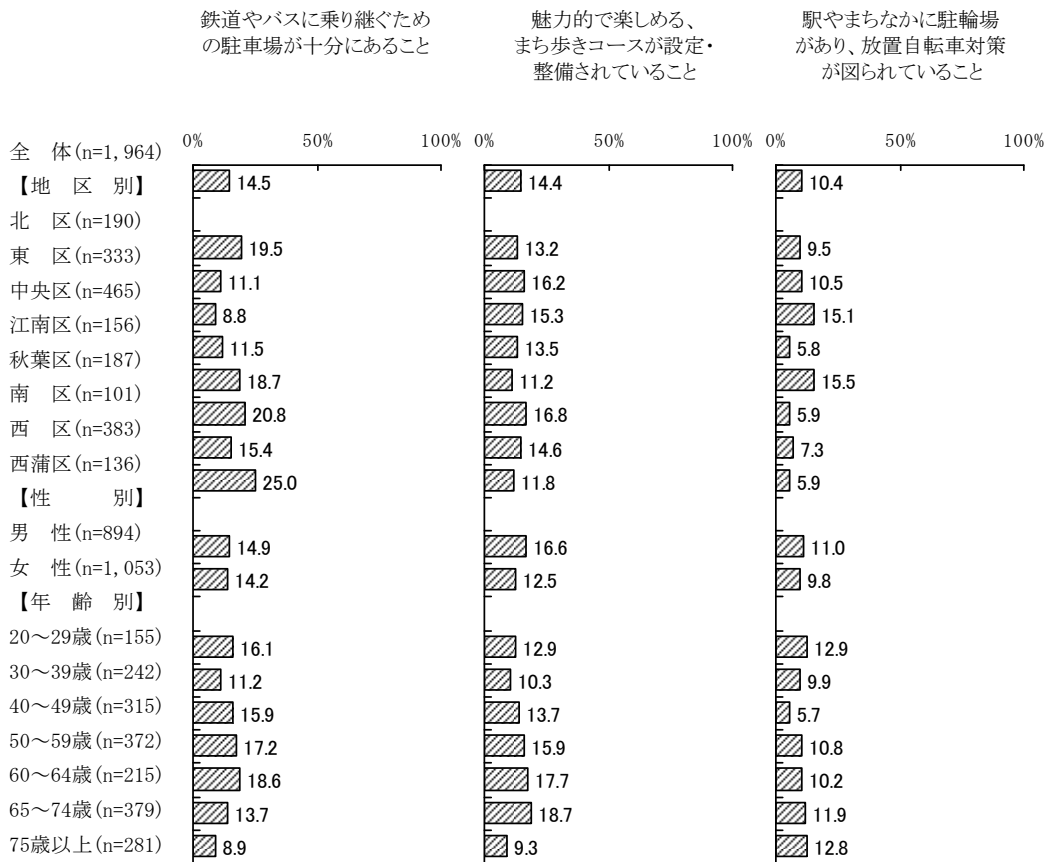
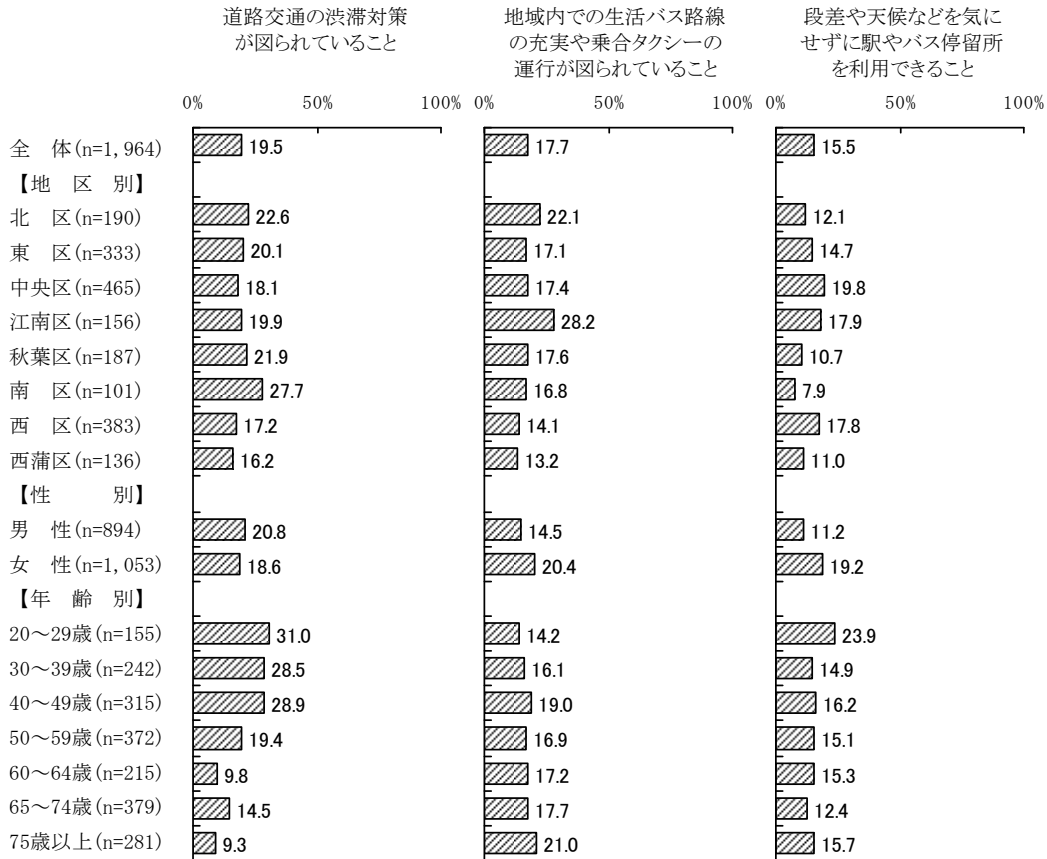
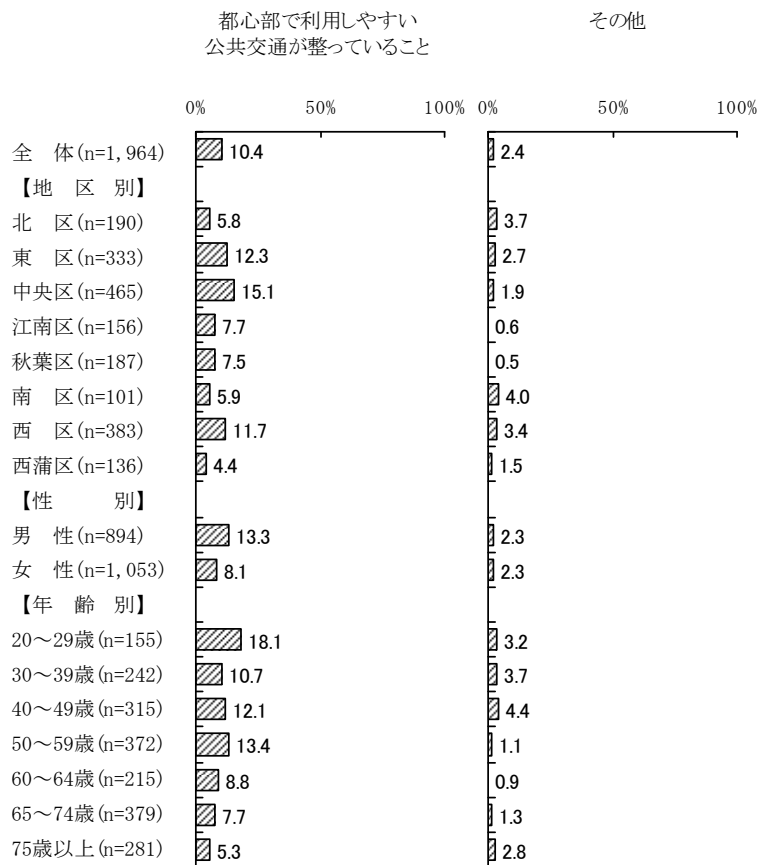


図3-3 「移動しやすいまち」として必要なこと（地区別／性別／年齢別） 3/3



(6) 「まち歩き」の現状とお勧めの「まち歩きコース」の理由

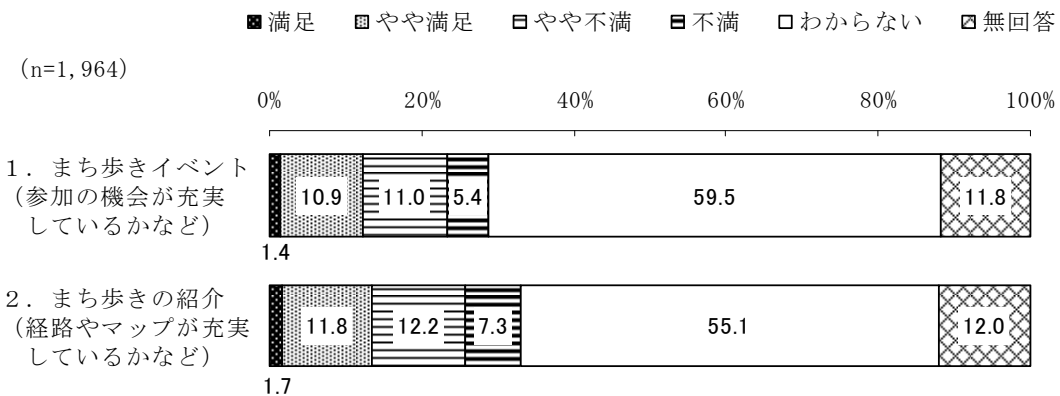
問34 近年、健康意識の高まりや街の持つ魅力が再認識され、街なかの散策を楽しむ「まち歩き」が広がりをみせています。

そこで「まち歩き」に関する現状についてお聞かせください。

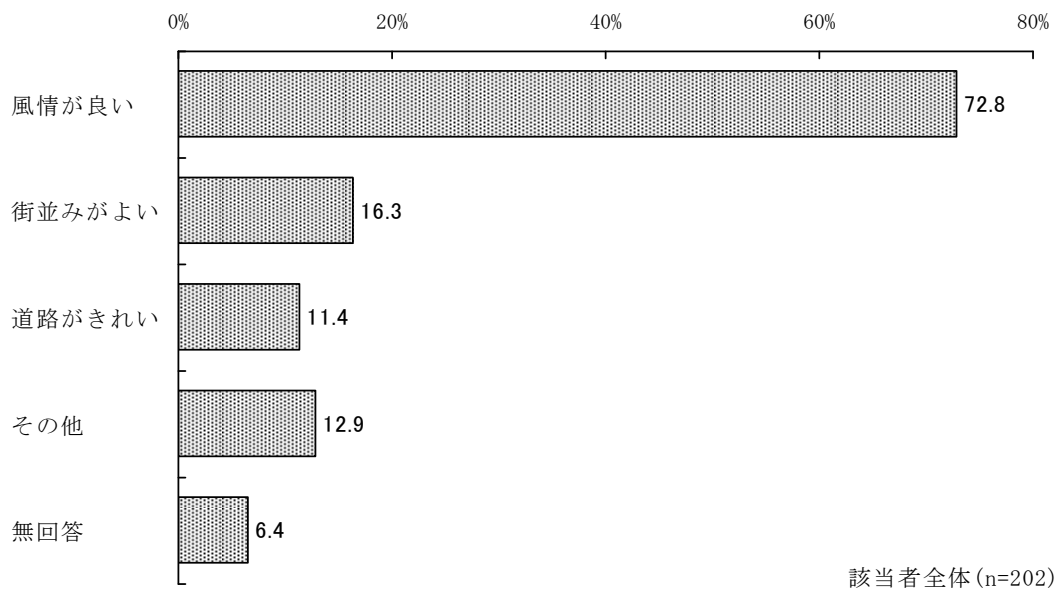
また、あなたのお勧めの「まち歩きコース」がありましたら教えてください。

(〇はそれぞれ1つずつ)

【「まち歩き」の現状】



【お勧めの「まち歩きコース」の理由】



—— 1割強が「まち歩きのイベントや紹介」に満足、
また、「まち歩きコース」を勧める理由は「風情が良い」から ——

【全体結果】

「まち歩き」の現状に対する『満足』と『やや満足』を合わせた割合（満足度）については、「2. まち歩きの紹介（経路やマップなどが充実しているかなど）」が13.5%、「1. まち歩きイベント（参加の機会が充実しているかなど）」が12.3%で、ともに1割強となっている。

一方で、『不満』と『やや不満』を合わせた割合（不満度）については、「2. まち歩きの紹介」が19.5%、「1. まち歩きイベント」が16.4%で、2割弱となっている。

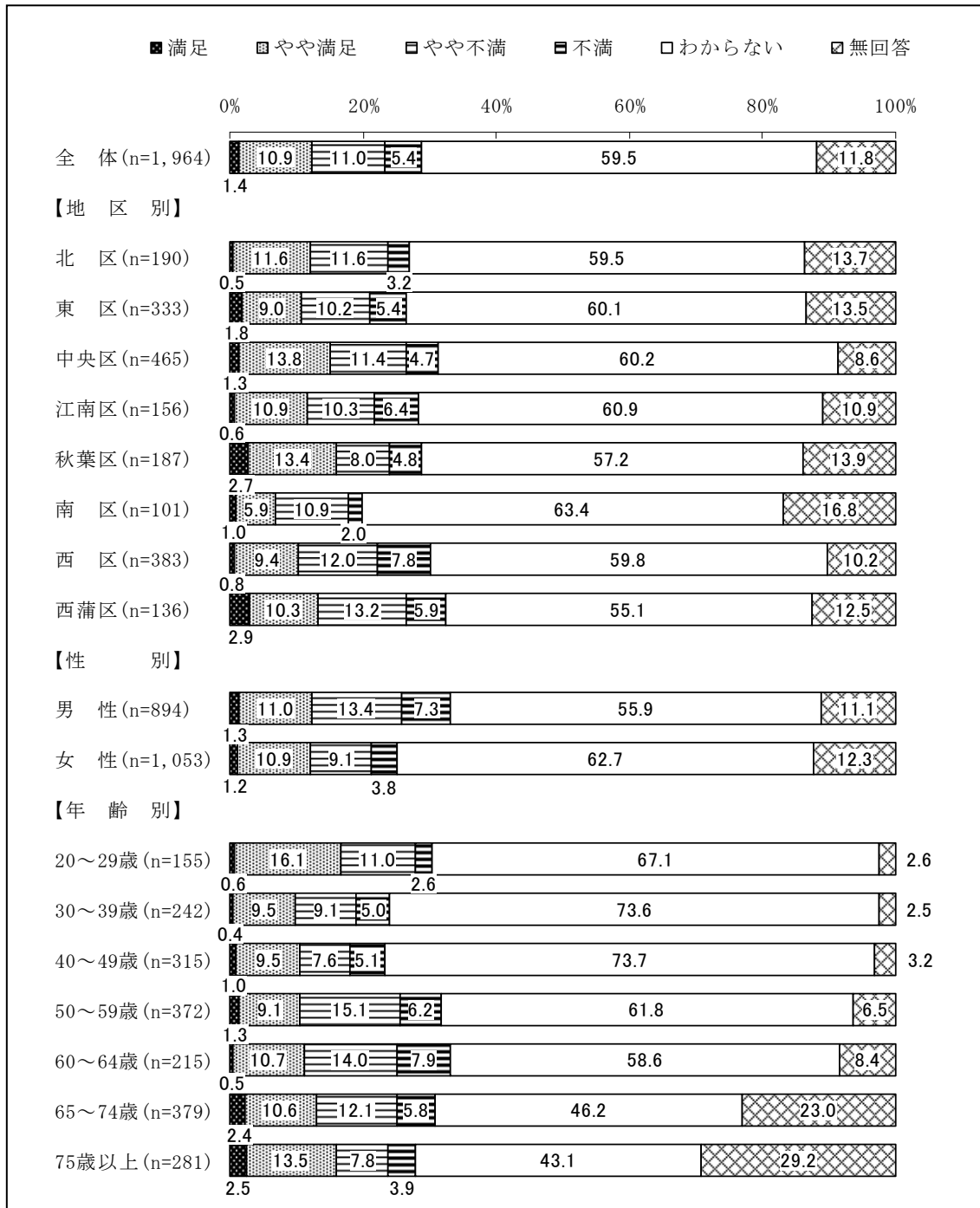
また、「1. まち歩きイベント」、「2. まち歩きの紹介」ともに、「わからない」の割合が高く、5割を超えている。

お勧めの「まち歩きコース」については、『やすらぎ提（信濃川沿い）』や『古町』を回答する人が多かったが、その理由としては、「風情が良い」（72.8%）が最も多く7割を超えた。以下、「街並みが良い」（16.3%）、「道路がきれい」（11.4%）の順となっている。

【属性別結果】

次ページ以降に「まち歩き」の現状の印象ごととお勧めの「まち歩きコース」の理由についての地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① まち歩きイベント（参加の機会が充実しているかなど）

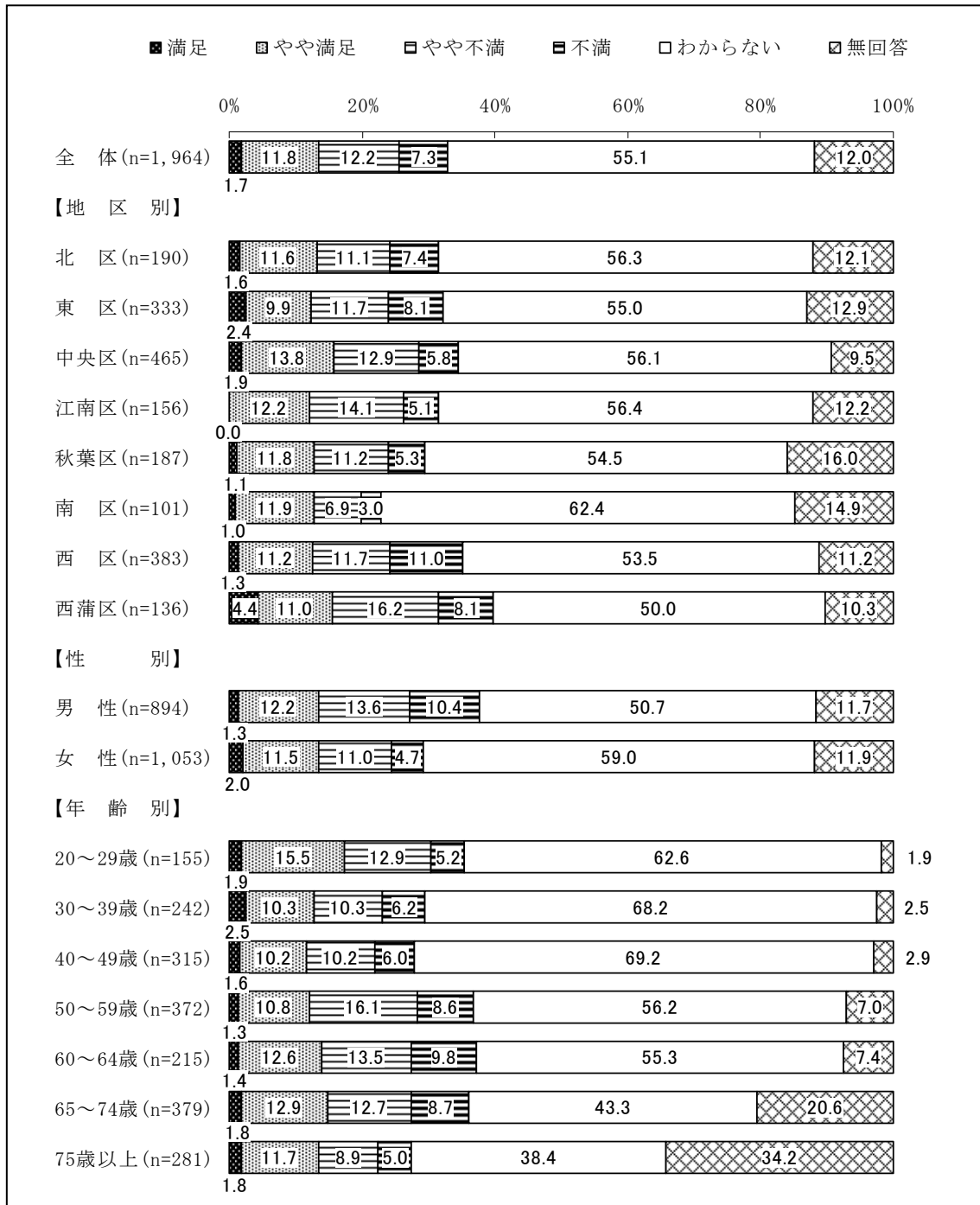


秋葉区、20代、75歳以上を除いた属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（19.8%）と西蒲区（19.1%）が高くなっている。性別は、男性（20.7%）の方が女性（12.9%）よりも高くなっている。年齢別は、60～64歳（21.9%）と50代（21.2%）が高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、秋葉区（16.0%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（16.8%）と75歳以上（16.0%）が高くなっている。

② まち歩きの紹介（経路やマップが充実しているかなど）

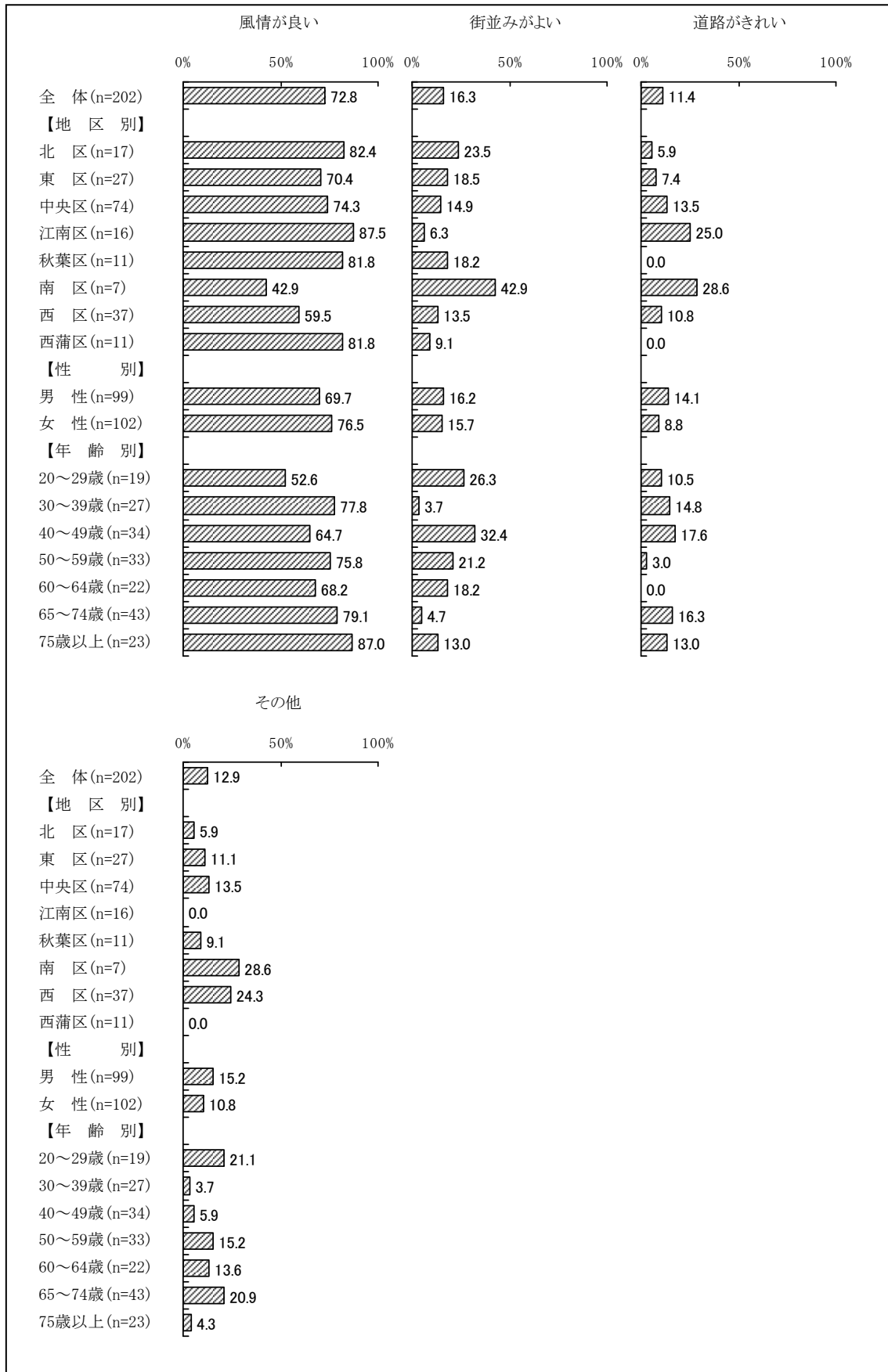


南区を除いた属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西蒲区（24.3%）が最も高くなっている。性別は、男性（24.0%）の方が女性（15.7%）よりも高くなっている。年齢別は、50代（24.7%）が最も高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、年齢別は、20代（17.4%）が最も高くなっている。

③ お勧めの「まち歩きコース」の理由



地区別では、全体結果で最も割合の高かった「風情が良い」については、江南区（87.5%）の割合が最も高く、南区（42.9%）が最も低くなっている。

「街並みが良い」と「道路がきれい」の割合は、南区が最も高くなっている。

性別では、「風情が良い」の割合は、女性（76.5%）の方が男性（69.7%）よりも高く、「道路がきれい」の割合は、男性（14.1%）の方が女性（8.8%）よりも高くなっている。

年齢別では、「風情が良い」の割合は、75歳以上（87.0%）が最も高く、20代（52.6%）が最も低くなっている。「街並みが良い」の割合は、40代（32.4%）が最も高く、30代（3.7%）と65～74歳（4.7%）が低くなっている。